



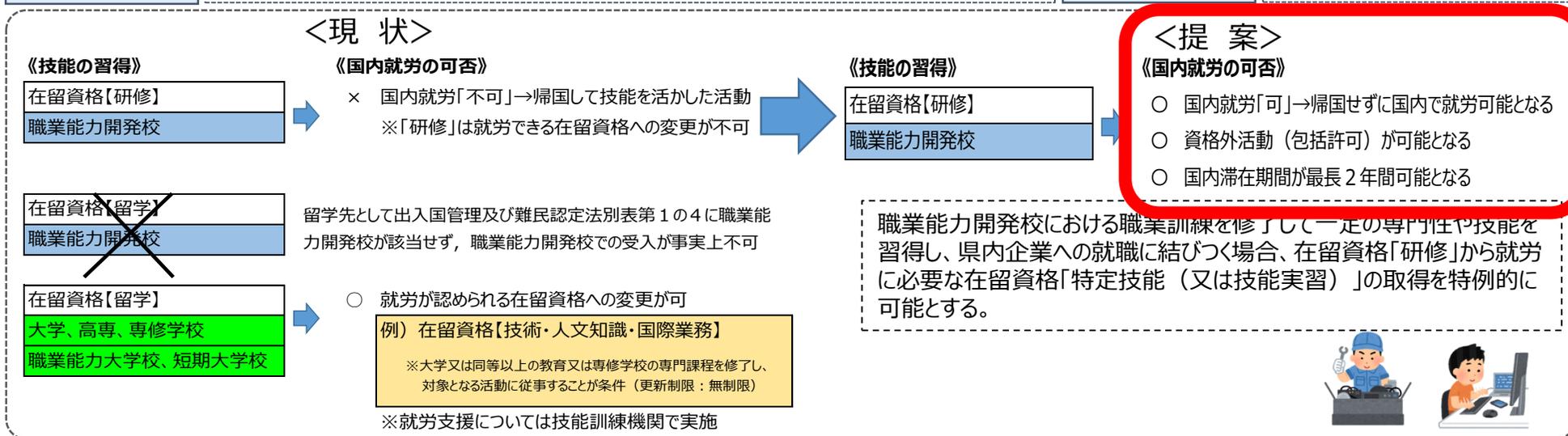
職業能力開発校における外国人材の受入及び適切な在留資格の取得

令和7年9月30日

宮 城 県



提案名	職業能力開発校における外国人材の受入及び適切な在留資格の取得		提案No.	1
実現したいサービス・事業の概要	職業能力開発校における職業訓練を修了して一定の専門性や技能を習得し、外国人材として県内企業への就職に結びつく場合、在留資格「研修」から就労に必要な在留資格「特定技能（又は技能実習）」の取得を特例的に可能とする。			
事業実施体制	職業能力開発校（宮城県立高等技術専門校）、現地サポートセンター、人材派遣機関（PT. OS Selnajaya Indonesia社等）、宮城県	事業実施場所	宮城県内全域	



必要な規制・制度改革

【根拠法令等】
出入国管理及び難民認定法第七条第一項第二号の基準を定める省令「法別表第一の四の表の研修の項の下欄に掲げる活動」の1号～3号

【規制・制度改革の内容】
特定の区域で特定の条件を満たした外国人材を対象に、在留資格「研修」から就労に必要な在留資格「特定技能（又は技能実習）」の取得を可能とする。

規制改革の実現・サービスの実装により実現される地域の姿

- 職業能力開発校での職業訓練によって習得した技術・知識を活かして県内に就職することにより、特に人手不足に悩む地域の中小企業並びに自動車産業及び高度電子機械産業等をはじめとする製造業における就職支援につながる。

→ 地域経済の活力維持・向上を実現

前回（令和7年3月7日）の特区WGからの検討事項

- (1) 職能校に受け入れる対象を半導体関連産業の分野に限定することに加え、地域において、協議の場を設けて理解を得る枠組みが必要。
- (2) 人材不足に対するアプローチとして、職能校だけでなく、専修学校の活用の在り方についても検討すること。
- (3) 職能校で受け入れる外国人材の受入環境の整備について検討すること。

(1) 職能校に受け入れる対象を半導体関連産業の分野に限定するというに加え、地域において、協議の場を設けて理解を得る枠組みが必要。

(2) 人材不足に対するアプローチとして、職能校だけでなく、専修学校の活用の在り方についても検討すること。



令和7年6月9日
宮城県専修学校各種学校連合会と「地域の産業分野の担い手確保と人材育成支援に関する覚書」締結

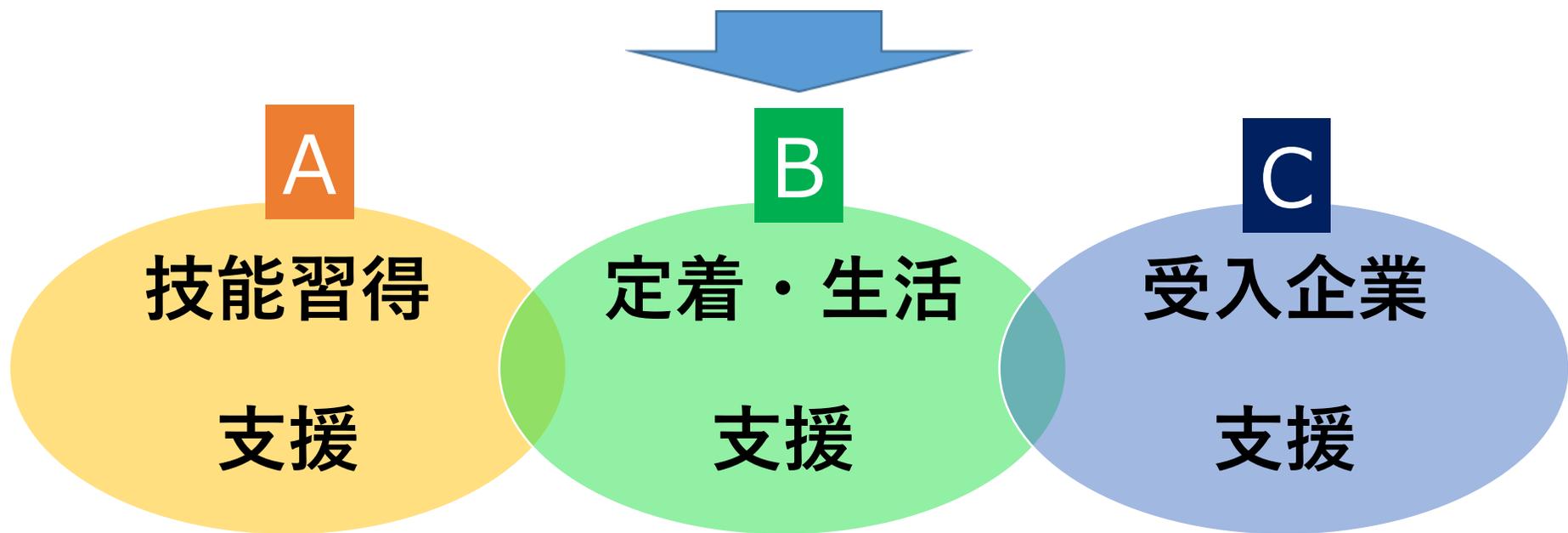
・職能校への受入れは競合しない訓練科(6科※)に限定

※(現) 機械エンジニア・金属加工、溶接、塗装施工、左官、設備工事

・ものづくり産業の人材育成について、相互の事業を尊重し協力連携に努める



(3) 職能校で受け入れる外国人材の受入環境の整備について検討すること。

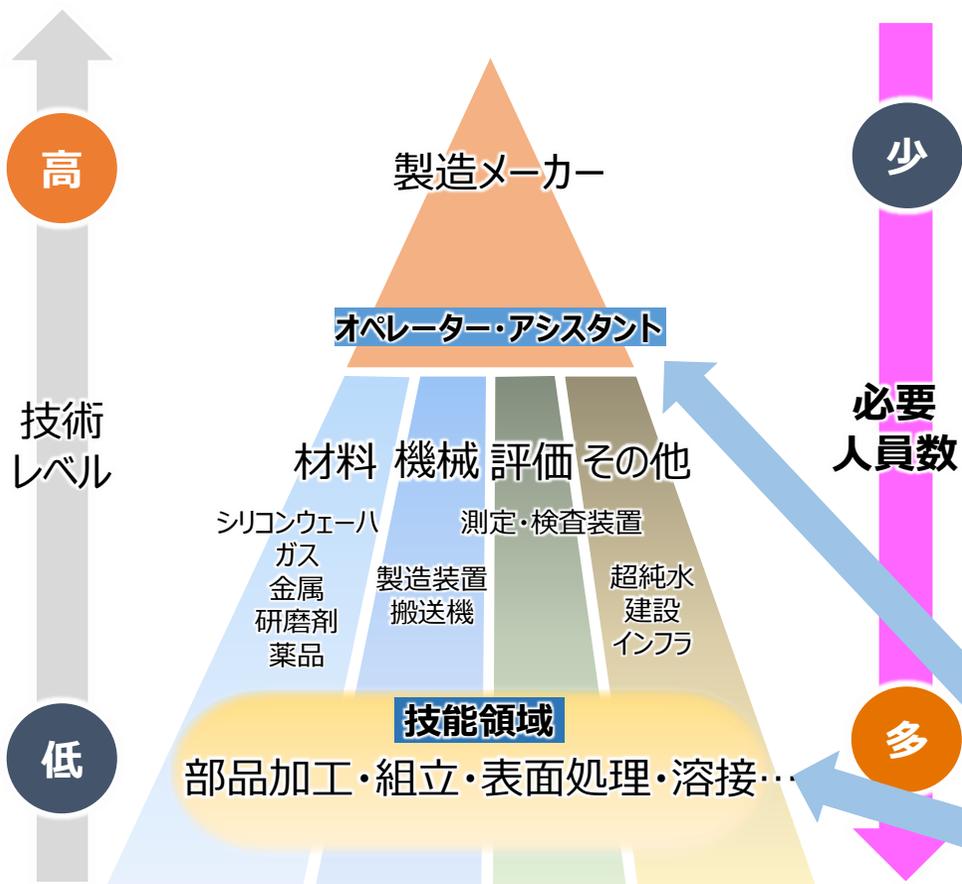


職能校で企業の即戦力となる技術を身に付け、就職に繋げるため、
多方面から外国人材を支援します

職業能力開発校で育成が期待される半導体人材像

▽ 高度人材は東北大学で育成し、**職能校**では**量産ラインのオペレーター**や**サプライチェーンの現場人材**を育成していく

求められる半導体人材のイメージ



半導体関連企業への職能校修了生就職・求人実績

企業の業種	訓練科
電子部品製造 ※	機械エンジニア科
ワイヤーハーネス製造 ※	設備工事科
金属切削加工 ※	機械エンジニア科
無機化学製品製造	設備工事科
半導体製造装置組立	機械エンジニア科 金属加工科
金属切削加工	機械エンジニア科 金属加工科
高機能性樹脂部品加工	機械エンジニア科 金属加工科
架台製造	塗装施工科

※は就職実績あり

職能校で育成する人材
(機械エンジニア科、金属加工科等)

職業能力開発校における外国人材への訓練実績

▽ 職能校では普通課程や地域のニーズに応じた在職者訓練で外国人材への訓練実績があり、一定の日本語能力を有する者への訓練は問題なく実施可能

➤ 普通課程における受入（在留資格「家族滞在」）

年度	外国人受入校数	受入数	備考
R 7	1校（石巻校）	3名	R 6から継続2名、新規1名
R 6	1校（石巻校）	2名	

➤ 短期間の在職者訓練※における受入（在留資格「技能実習」「特定技能」）

年度	開催コース数	受講者数	外国人受入訓練科	企業数	外国人受講者数
R 6	28	206人			
R 5	31	227人	溶接科（気仙沼校）	1社	2名
R 4	39	243人			
R 3	23	167人	溶接科（気仙沼校）	1社	2名
R 2	21	164人	溶接科（気仙沼校）	1社	2名
R 1	24	214人	溶接科（気仙沼校）	2社	4名



※主に中小企業に勤める方々を対象に、従事されている業務に必要な専門知識及び技能・技術の向上を図るための短期間の職業訓練で県内5校で実施。

職業能力開発校の訓練カリキュラム

職能校では訓練修了後に**企業の即戦力として就業**できるレベルを目指したカリキュラムによる**実践的な訓練**を実施。

外国人材の訓練目標

特定技能 1 号評価試験合格
(技能検定 3 級試験程度 + 日本語能力 N 4 以上)



職能校のカリキュラム

- ・ 技能検定の検定委員も務める職業訓練指導員が監修・作成
- ・ 年度当初から学科と実技を組み込んだ少人数制の訓練
(年間約 1 4 0 0 時間：学科約 3 割 + 実技約 7 割)
- ・ 技能検定会場にもなる職能校の機材を使用した実践的な内容



少人数制の丁寧な
指導で試験合格に
向けて技能習得を
バックアップ！



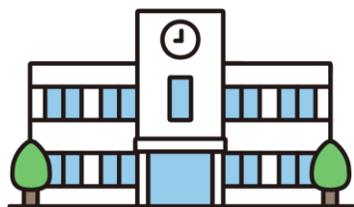
技能検定 3 級受検状況
(例) 機械エンジニア科訓練生
入校から 4 か月程度で、製造分野特
定技能 1 号評価試験相当である技能検
定に受講者全員合格！ (R 6 実績)

- ・ 機械加工マシニングセンタ作業 3 級
- ・ 機械加工普通旋盤作業 3 級
- ・ 機械加工機械検査作業 3 級

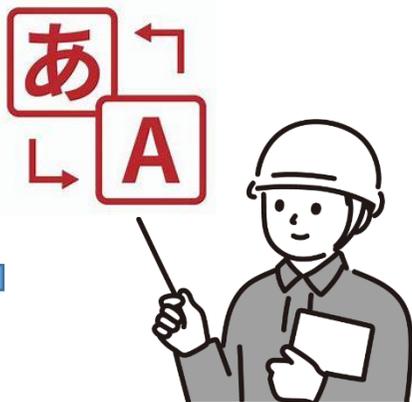
外国人材が安全に、必要な技能・知識を習得するために

従来からの職能校での安全講習に加えて、**翻訳機や外国人労働者向け教材を活用**し、安全に作業ができるよう少人数制で丁寧に指導する。

職能校での年間行事



救命講習や労働安全衛生講話

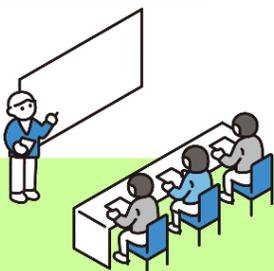


翻訳機で補足



教材（YouTube動画やテキスト）

外国人労働者向け教材（厚生労働省作成）



外国人労働者の安全衛生管理に活用

言語（英語・インドネシア語・ミャンマー語など11か国語）ごとに、熱中症対策やメンタルヘルスなどの共通事項と建設関連業務の教材を掲載。

B 定着-生活
支援

職業能力開発校における外国人材受入体制整備プラン

県内民間専修学校
へのヒアリング
結果を踏まえて

- ▽ 一定の日本語能力（N3程度）を有する外国人を受け入れる（日本人と同じ訓練を受講）
- ▽ 専修学校と同様に**校内に相談窓口を設置するなど**、関係機関と連携しながら**生活面や就職面をサポート**する

生活
支援

- 生活のためのオリエンテーション
- 防災訓練、救命講習
- 交通マナー講習会開催
- 健康診断
- 在留資格更新・変更手続きのサポート
- 不動産会社紹介・引っ越しの相談

就職
支援

- 無料職業紹介事業を活用した就職先あっせん
- 就職に有利な資格取得のための試験対策
- インターンシップの紹介

連携

関係機関

仙台観光国際協会

生活ルールのアドバイス

警察

交通マナー講習

住まいアドバイザー

不動産会社紹介

みやぎ外国人相談センター

困りごと相談

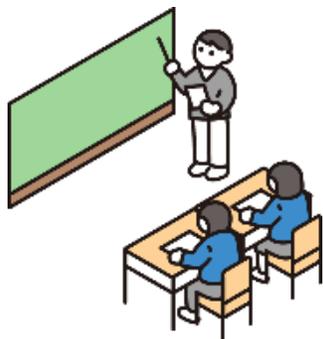
etc

定着・生活に関する支援（日本語講座開催）

▽ 業務や生活における**言語面の不安を軽減**することで、円滑な実習や就労開始を支援し職場への適応を速めて定着を促進する。

➤ 職能校訓練生・修了生等向け日本語講座の開催

✓ 職能校訓練生や修了生を含む県内企業での就労が決まっている外国人材や、実習・就労中の外国人材を対象に、業界ごとの特性に応じた日本語講座を実施



円滑な実習・就労開始を支援

県内企業への定着を促進



対象者

県内企業で就労する(予定の)外国人

内容

実習・就労する上で必要となる日本語

形式

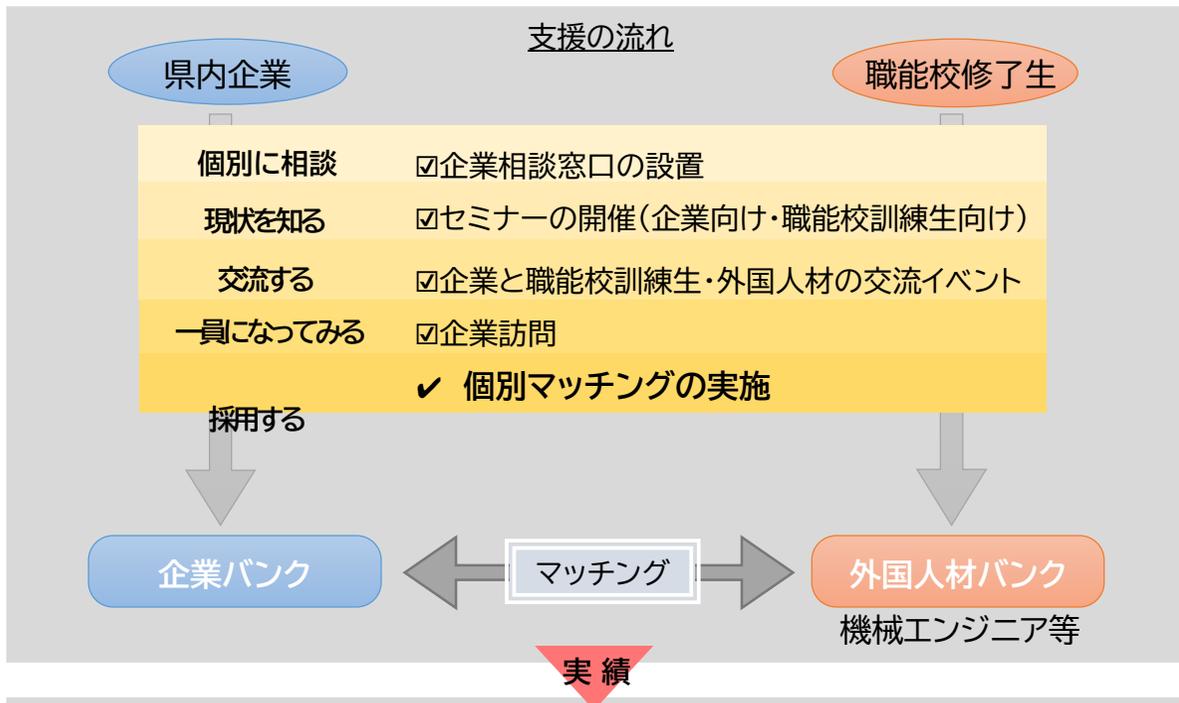
対面またはオンライン

開催方法

・開催する講座への参加
・講師を派遣し、企業の求めに応じた内容や形式での開催

県内企業への採用に関する支援

▽ 外国人材の採用・定着を図るため、**県内企業**における**外国人材の受入れ**や**在留資格等に関する相談から定着まで**企業と外国人材の双方を**ワンストップ**で支援



宮城県外国人材活躍企業情報誌

外国人材マッチング
支援事業
Work in MIYAGI

Work in MIYAGI

未来を創る、
多様なチカラ。

外国人材採用の成功事例や職場づくりの工夫を
過去の情報誌から厳選してご紹介!

- ・マッチング件数が着実に増加 2022年 25人 ⇒ 2023年 50人 ⇒ 2024年 100人
- ・在留資格:「特定技能」79人、「技術・人文知識・国際業務」21人(2024年)
- ・国籍:ベトナム36人、インドネシア26人、台湾18人、ミャンマー10人、カンボジア7人、アメリカ2人、中国1人 (2024年)
- ・業種:飲食料品製造25人、造船・船用工業24人、建設12人、漁業6人、旅行業6人、製造業5人、介護4人、ほか18人 (2024年)

外国人受入企業の魅力発信

▽ 人手不足に直面する企業の**即戦力として活躍が期待される職能校修了生等**の県内企業への定着を促進するため、受入企業の**魅力向上**を図る。

➤ 外国人受入企業へのコンサルティング

- ✓ 個別企業に対して**コンサルティングを実施**し魅力を向上
- ✓ その取組や成果を**他企業に周知**し、より多くの県内企業の魅力を向上

外国人材に選ばれる企業の創出



対象者

県内企業等 5社程度(公募により選定)

内容

実施の流れ:ヒアリングによる現状把握 → 課題設定 → 解決策提示 → 導入支援
[助言分野例] 採用分野における母集団形成・マーケティング
人事評価制度の策定
ダイバーシティマネジメント
企業理念の浸透等

外国人材のキャリアアップ支援

▽ 職能校修了生等の**キャリアアップの機会を提供**することで、**モチベーションやエンゲージメントを向上**させ、企業への定着を促進する。

➤ 職能校修了生等のキャリアアップ支援

✓ 雇用する職能校修了生を含む外国人材の資格取得等の費用を負担した企業の経費の一部を補助

補助対象事業

外国人材の日本語学習及び日本語検定等受験

外国人材が特定技能2号取得のために必要な学習及び試験受験

外国人材が業務上必要な資格及び技能の習得(外国人技能実習生に対する入国後講習を除く)

外国人材の在留資格の変更(特定技能1号又は特定技能2号への変更)

